

『国家安全を強調する中国の社会統制政策 ～最近の情勢の分析～』

／東京大学大学院総合文化研究科 教授 阿古 智子 氏



倶楽部からのご案内

十一月の電気施設関係見学会は、日本原子力発電(株)の美浜原子力緊急事態支援センターを見学します。同センターは、万が一の原子力災害時に、遠隔操作ロボット等の資機材や要員派遣などを行う拠点です。普段は見ることも出来ない、対応訓練や資機材の操作を特別見学します。



発電所での訓練



支援センター本部との連携

「ご昼食は美浜の「ホテル湾彩」にて、この地こそ味わえる「若狭もの」と呼ばれる新鮮な季節の旬味をご堪能ください。
旅のお土産には、巨大海鮮市場の「日本海さかな街」でお買い物をお楽しみください。

電気施設関係見学会のご案内

開催日 令和五年十一月十四日(火)

【雨天決行】

集合 八時三十分 中央電気倶楽部

一階 ロビー

行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)前：「ご昼食「ホテル湾彩」：

「美浜原子力緊急事態支援センター」見学：敦賀「日本海さかな街」：アロフト大阪堂島と大阪駅(十九時頃帰着予定)

※交通事情により遅れる場合があります。

会費 会員 一、〇〇〇円

会員外(ご家族含む)

一五、〇〇〇円

申込み 十月三十一日(火)までに中央

電気倶楽部 事務局(松本)までお申込み下さい。

メール matsumoto@chuodenki-club.or.jp

TEL 〇六一六三四五一六三五六

FAX 〇六一六三四五一六八七七

*開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセル料として申し受けます。

会員証のご利用について

ご飲食時は会員カードを

必ず持参下さい

当倶楽部では、ご入会時に会員カードをお渡ししております。

三階食堂及び各会議室でのお食事の際にご提示で、一〇％割引させていただきます。

※一階喫茶室でのご飲食は、

チット請求の場合のみ五％割引。

ご会食、同窓会・OB会・忘年会・新年会など、皆様のご利用をお待ちしています！
(会議室でのお飲物のみのご利用は対象外です)



会員カード



えれき亭

十一月のスケジュール

一	水	電寿会例会(三一六号室) 絵画部(水彩画)(B一〇号室) 絵画部展示会(囲碁室前…十月二十六日～十一月二日) 社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
二	木	中央電氣俱樂部創立一〇周年記念式典 (十四時～十七時三十分 五階大ホール・三階大食堂) 創立一〇周年記念公演 ソプラノ歌手 山口安紀子氏 ソプラノ歌手 平野 雅世氏 テノール歌手 松本 薫平氏 バス、バリトン歌手 片桐 直樹氏 ピアノ奏者 前川 裕介氏
三	金	文化の日 撞球部秋季大会
四	土	
五	日	青年会例会
六	月	
七	火	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
八	水	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
九	木	消防訓練 午さん会 講演『福島原子力事故～現状と事故からの学び～』 世界エネルギー会議 副会長 元東京電力ホールディングス 社長 廣瀬 直己氏
十	金	
十一	土	囲碁部例会
十二	日	
十三	月	
十四	火	電気施設関係見学会(美浜原子力緊急事態支援センター) 他
十五	水	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
十六	木	写真部撮影会(等持院) 午さん会(電社会合同) 講演『これまでの水力発電 ～黒部ダム六十年のあゆみ～と これからの水力発電について』 関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 水力部長 山根 雄一氏
十七	金	
十八	土	電社会幹事会(特別会議室) 撞球部紅白戦 囲碁部指導日 初・中級者向け囲碁教室(二〇五号室) 十時～十二時
十九	日	
二十	月	いなづま句会 作品展示会(囲碁室前…十一月二十日～十二月一日) ゴルフ部例会(鳴尾G.C.)
二十一	火	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
二十二	水	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
二十三	木	勤労感謝の日 午さん会 講演(仮)『令和六年の日本経済のゆくえ』 日本銀行 大阪支店 副支店長 高田 英樹氏
二十四	金	
二十五	土	いなづま句会(三一七号室) 将棋部例会・指導日
二十六	日	
二十七	月	
二十八	火	
二十九	水	評議員会(二一四号室) 理事会(二二三号室) 社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
三十	木	

※予定変更の場合は改めて連絡いたします。

目次

11月のスケジュール — 2
12月・1月の予定
写 真 — 4
講演録 — 5～14
倶楽部だより — 15～16
同好会だより — 17～19
倶楽部からのご案内 — 20

創 立：大正3年11月
建物(本館)：昭和5年竣工
会 員 数：1,417名

法人指定会員 1,186名
個人会員 231名
(R.5.10.未現在)

十二月の午さん会講演(予定)

◎十二月一日(金)

講演『アメリカンフットボールの魅力
～チームスタップの視点から～』
パナソニック株式会社
リーガルセンター 主務
園部 友美氏

◎十二月八日(金)

講演(仮)『国際紛争の前段階としての
サイバー攻撃に対する
わが国の現状と課題』
NTT 技術企画部門
セキユリティ&トラスト室
チーフ・サイバーセキユリティ・ストラジスト
松原 実穂子氏

◎十二月十五日(金)

講演『紫式部と藤原道長』
京都先端科学大学 人文学部
教授
山本 淳子氏

◎十二月二十二日(金) 休会

年賀交歓午さん会(予定)

◎一月十七日(水)

公演『新春を寿ぐ和楽器の調べ』
菊井箏楽社
菊井 松音氏

新春講演会(日本電氣協会関西支部・中央電氣俱樂部共催)

◎一月中旬～下旬頃予定 調整中

一月の午さん会講演(予定)

◎一月十九日(金) 休会

◎一月二十六日(金)
講演(仮)『美食地質学
～和食と日本列島の素敵な関係～』
神戸大学 海洋底探査センター客員教授
ジオリブ研究所 所長 巽 好幸氏

午さん講演会にご出席のおすすめ

毎週金曜日の午さん講演会は、下記の要領で開催いたしておりますので、多数ご出席ください。

出席資格：倶楽部会員およびご同伴の方、会員会社の社員の方

時 間：12時～13時40分頃
(講演12時40分～13時40分)

場 所：3階大食堂

食 事 代：一人会員2,200円(税込)
非会員2,500円(税込)

予 約：不要

着 席：自由着席

国によってそれぞれ内容は異なりますが、どの国にも安全保障政策というものがあります。中国の「国家安全法」には、領土をどういうふうを守るのか、海洋における主権をどのようにして守っていくのか、経済システムをどのように構築していくのか、さらには食料安全保障といったことがうたわれています。原子力や宇宙空間の開発も含まれていたり

はじめに

しますが、中国の場合も、国家が担う安全保障の基本的なものは他の国々とそう変わりはありません。

今日は、今の中国政府の様々な政策が、どのような論理で打ち出されているのかということを見るために、中国の社会の統制、つまり、中国はどのような政策で社会をまとめたいかとしているのかという視点からお話ししたいと思います。

社会統制のために

中国がとっている政策

中国の現状の政治システムでは、政権を担うことができるのは共産党だけです。実は共産党以外にも中国には様々な政党があるのですが、それらの政党は執政党にはなれないのです。ですから、国家の安全、国を安定させていこうとするときに、共産党の統治を安定させることが中国にとっての国家安全であるという考



午さん会講演録

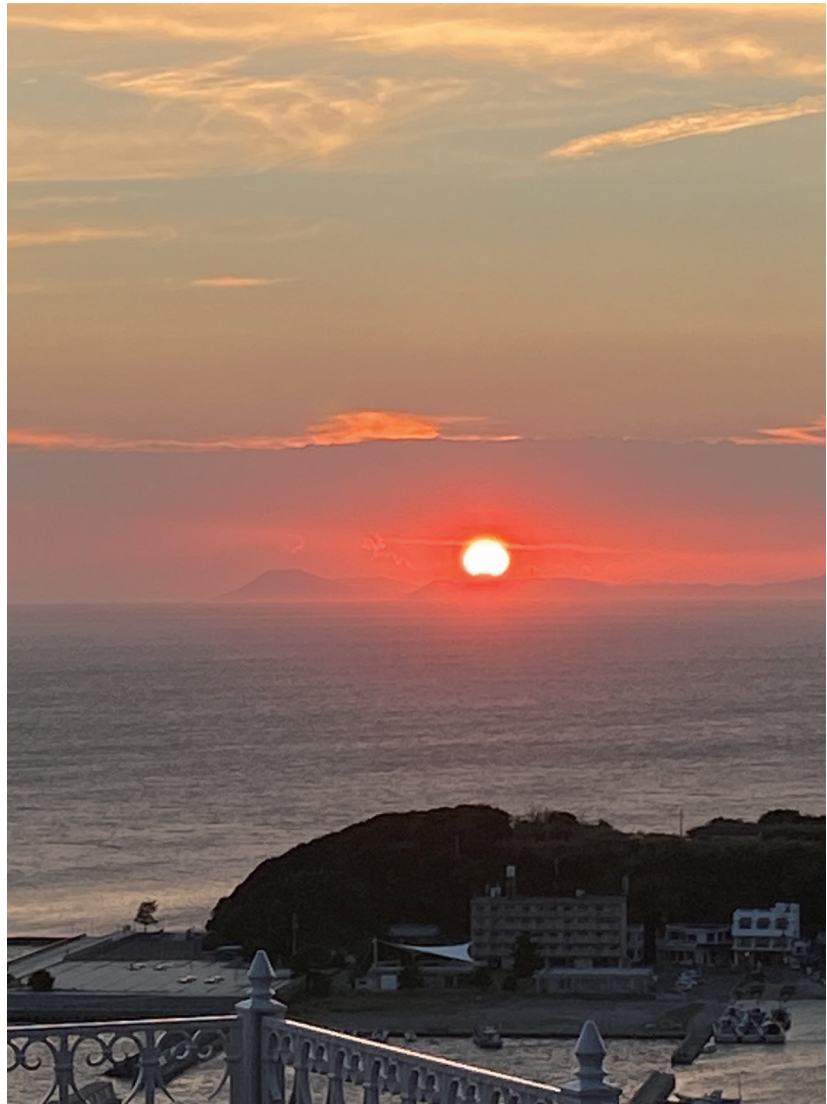
東京大学大学院総合文化研究科
教授

阿古 智子 氏

『国家安全を強調する 中国の社会統制政策 ～最近の情勢の分析～』

阿古 智子氏 プロフィール

略歴	大阪府生まれ 1994年 大阪外国語大学外国語学部中国語学科 卒業 1996年 名古屋大学大学院国際開発研究科 修士課程修了、修士 2001年 外務省在中華人民共和国日本国大使館 専門調査員 2003年 香港大学教育学系大学院博士課程修了、Ph.D.(博士)取得 2009年 早稲田大学国際教養学部准教授 2013年 東京大学大学院総合文化研究科准教授 2020年 同大学教授 現在 東京大学大学院総合文化研究科教授
研究分野	現代中国の政治・社会変動、農村の社会関係資本、農村から都市へ向かう出稼ぎ労働者、土地・戸籍制度、知識人や市民社会の動向などを研究している。
著書	『貧者を喰らう国—中国格差社会からの警告』(新潮選書、2014年) 『超大国・中国のゆくえ5 勃興する「民」』(東京大学出版会、2016年) 『東アジアの刑事司法、法教育、法意識』(現代人文社、2019年) 『香港 あなたはどこへ向かうのか』(出版含ジグ、2020年) 『香港国家安全維持法のインパクト：一国二制度における自由・民主主義・経済活動はどう変わるか』(共著：日本評論社、2021年)等



「海に沈む夕陽」

個人会員 渡部 昌子 さん 撮影

撮影者のひと言

今年七月末、以前から話が出ていた知り合いの鳴門の別荘を訪ねることが出来ました。この主は、ちよつとしたご縁で昔イタリア旅行のおぜん立てをしたことがあり、その時現地の案内を頼んだイタリア在住三十数年の知り合いと私とを今回招待してくれた訳です。

主自ら備長炭で焼いた焼鳥、菜園の野菜等おもてなしを受け、夕方には海の見えるテラスで沈みゆく夕陽の美しさに感動してしまい、最近忙しく疲れ気味だった私はホッと一息つくことが出来ました。

(写真部員 渡部昌子)

え方になります。普通の民主主義国家であれば選挙による政権交代もあり得るわけですが、中国の場合、政権交代可能な新勢力が現れてくれば、それは中国という国に対してチャレンジする勢力と見做され、その勢力を弱めようとなります。中国という国は、そういう流れで社会統制を行ってきたのです。

ターゲットになるのは、たとえば人権派弁護士です。弁護士本人だけではなく、支援者や家族にまで圧力をかけていきます。弁護士といえは、法の支配を重んじる法治国家においては極めて重要な人たちです。法治国家では、何か問題が起きたとき、それを暴力や権力で一方的に封じ込めるのではなく、法律によって平等に裁いていきますが、どれだけ権力を持つていても法の下では平等であり、訴訟となれば弁護士を含めて裁判所ですっかりと検証をしていきます。そこで罪ありとなれば有罪という結果になり、無罪を主張するのであれば弁護士の力を借りながら自分の立場を主張するというのが当たり前の姿です。ですから、法律に関して専門的な知識があり、資格を持っている弁護士たちが社会に存在し、圧力を受けずに活動できているのか

とき、たまたまやってきたデモで香港を応援するカードをもらい、それを鞆に入れていたことも問題視され、国家政権転覆罪に値するとされたようです。やりすぎではないかと思わざるをえません。

台湾人だけでなく、日本人も五十歳代の方が上海で起訴されたというニュースがありました。その前に、今年三月には、北京でアステラス製薬の社員が逮捕されました。

〈新公民運動や海外勢力に対する中国政府の対応〉

中国当局としては、海外からの敵対勢力を制御したいと考えています。つまり、彼らにしてみれば、共産党政権を安定させるためには、政権が抱えている問題を指摘する人たちを排除しなければならぬと考えてしまうわけです。政策に問題を抱えているのはどの国も一緒なので、議論しながらよくしていけばよいだけの話で、そんなに怖がらなくてもいいはずなのですが、政権交代の可能性がない国の特徴で、そういう批判に過敏になりすぎるのです。経済がうまくまわっていれば、少しくらいの問題があっても、これだけ経済

どうか、社会を見る上での重要な指標となるわけですが、中国の場合、特に人権派弁護士といわれる人たちの数がどんどん減っています。

中国では裁判所の人事権、予算権は地方政府が握っており、司法の独立が機能していないケースがままあります。地方政府が勝訴させたくない案件があれば敗訴にしようか、訴えそのものも握りつぶしてしまします。そうすると問題を抱えている人たちは、人権派弁護士といわれる人たちに相談し、相談を受けた人権派弁護士はどういう形で法律を使えばよいのか、あるいは陳情の制度をどういうふうを活用すればよいのかというアドバイスをするわけですが、そういった弁護士たち本人だけでなく、その家族にも圧力がかけられます。

人権派弁護士といわれる人たちは、国家政権転覆罪であったり、国家政権転覆煽動罪という、いわゆる政治犯罪で捕まります。日本にも治安維持法が猛威を振るった時代がありました。今も保証されている一応の平和な国となっています。中国の今は、日本のあの時代を進行中なのかと思ったりしています。つい最近、友人の紹介で、ある台

が伸びているのだからかわらない、別にいいじゃないかと流せても、経済に大きな問題を抱えているときには、ちよつとした批判でさえ自分たちの政権を安定させるためには不利な材料だと考え、慎重になつてしまふのです。

法学者の許志永（きよ・しえい）氏の呼びかけで、中国では二〇一〇年頃から、「新公民運動」という市民運動が盛り上がり始めました。ノーベル平和賞を受賞した劉曉波（りゅう・ぎょうは）氏は、許志永氏よりもさらに突つ込んだ形で、新しい憲法をつくろうと中国の政治改革を提案しました。たとえば現在の中国の憲法は、共産党しか政権をとることができません。劉曉波氏は「〇八憲章」という新しい憲法をつくり、他の政党も政権をとることができるようにし、連邦制を導入して大きな中国を分割統治していくようにするという新しい提案をします。しかしそれが当局に問題視され、激怒した中国政府はノーベル平和賞受賞者であった彼を投獄し、劉曉波氏はそのまま獄中死を遂げました。

許志永氏の主張は、憲法は変えなくてもよいが、憲法に基づいた政治をしていこうというものです。許志永氏は、中国の憲法にも言論の自由

湾の方にお会いしました。その方は、中国にビジネス出張しているとき中国当局に拘束され、四年間帰れなくなつてしまった経験を持つ方で、当時、そのことは日本の新聞でも報道されていきました。彼は人権活動などまったくしていないにもかかわらず、国家政権転覆罪で拘束されました。商品サンプルを仕入れに中国・深圳を訪ね、ホテルの窓際の席で朝食を摂っているときに、朝食を写真におさめようと思ひシャッターを切つたときに偶然、武装警官が写り込んでしまいました。ホテルから誰かが写真を撮っているぞと武装警官に怪しまれ、彼は逮捕されてしまったというのが拘束された経緯です。台湾人は、スパイ活動等々で中国当局から疑われやすいそうで、そのため最初の何カ月かは取り調べが続いたものの、彼は人権活動などしていなかったのに何も出てこなかったのですが、結局二年間、拘束されたままでした。あとの二年は中国人として扱われ、政治権利が剥奪され、行動制限まで課され、監視されながら中国本土から離れることができず、計四年、台湾に帰ることができなかつたといっていました。ビジネスの出張先でたまたま写真を撮つただけで、あるいはその出張の

や集会・結社の自由がうたわれており、これをしっかりと守つていこうと主張し、たとえば公務員の財産公開や教育を平等に受ける権利についても、さらにしっかりと進めていくといったことを掲げて新公民運動を立ち上げていくわけですが、二〇一四年、彼は公共秩序騒乱罪で懲役刑を受けることになりました。そして驚くことに、今年の二〇二三年、懲役十四年の刑が確定します。許氏が具体的に何かをしたのかといえは、何もしていないのです。集会を開いたといつても、十人、二十人ほどの知り合いが集まって議論をしている程度。厦門（あもい）で開いた集會に参加した人たちも次々に逮捕されていきましたが、その程度で懲役十四年です。ひどい話です。

同じく新公民運動に参加し、政治的な改革案をいろいろと提示していた郭飛雄（かく・ひゆう）氏は、アメリカにいる病気の奥さんに会うため出国しようとしたが、当局にしてみれば彼が出国すれば体制に不利な状況が生じるかもしれないというところで、結局、彼は出国できず、やがて郭氏は逮捕され、懲役八年の実刑判決が下されました。癌で苦しむ妻にひと目会いたいという思いで出国をしようとした人が、なぜ懲役

刑まで受けなければならぬのかかと思えます。

人権派弁護士の唐吉田（とう・きつでん）氏も同じです。日本留学中の娘さんが結核で倒れ、意識不明の重体に陥りました。唐氏は娘に会いたくて、何度も当局に出国を働きかけているのですが、いまだ許しは出ていません。弁護士だけではありません。学者であつても出国できない。簡単に旅行さえできない人が結構います。

（海外敵対勢力への対応）

中国では国家の安全のためにいろいろな法律がつくられていて、そのひとつが反テロ法です。テロ対策の強化はどの国でも重要なテーマとなつていますが、中国の場合、テロの定義がしやすい。たとえば新疆ウイグル自治区のウイグル人のように、どう見てもテロリストとは思えない人にまで「テロリスト」というラベルを貼り付け、テロリスト扱いをする。

NGOを管理し、それを強化する法律もつくられています。二〇二〇年には香港で国家安全維持法が施行されました。

反スパイ法もあります。二〇一五

ときは、結構自由な形で独立系メディアが発展していききました。自分たちのメディアを立ち上げ、様々なことを報じていきました。ライブでもいろいろなことを伝えていくだけでなく、都市報といわれる商業的な新聞社もスクープを連発しました。

当局にしてみれば見せたくない情報でも、社会にとって大事だと思われるものをどんどん発信していったのです。胡錦濤主席の時代はジャーナリストというものが尊敬されていましたが、ジャーナリズム全体に活気もありました。資金もさほど苦勞せず集まり、中国全体をみてもジャーナリスト志望者が多くいました。しかし、今はジャーナリストになりたいた人がすごく減っています。というよりも、ジャーナリズムそのものが存在しないような状況にまでなつてしまいました。政府のプロパガンダは重視されても、実際に何が起きていて、何が事実なのかということが報じられません。さらに、その事実に基づいてどのような意見が出てくるのかということも報じることが難しくなつてきています。

民間企業は報道事業への参入が禁止され、たとえば英雄を侮辱すれば処罰される刑法改正もありました。思想教育も強化し、学習塾やオン

年以降、少なくとも十七人の日本人がこの法律によって拘束されています。それだけでなく、日本人に関わつた中国人も拘束されています。「光明日報」の論説部副主任を務めている董郁玉（とう・いくぎょく）氏が、日本の外交官と食事中に連行されました。光明日報は中国共産党系の新聞なのですが、新聞の論説委員は、よい記事を書くためにはいろいろなことを知らなければなりませんし、情報も必要ですから、通常、いろいろな人と意見交換をしますし、他国の外交官とも意見交換をする。そういう人がスパイ罪として起訴される。

アステラス製薬の社員さんも、董氏も、実は現在の在中國大使の垂（たるみ）さんと近い関係なのですが、垂大使にしてみれば、次々に逮捕されていく友人たちを釈放してもらうためには、何か交換条件でも出さなければならぬのではないかと、どうしても思つてしまいがちになります。人質のようなものです。

台湾の出版社の社員も拘束され、今、国家安全当局から取り調べを受けています。正確な数はわかりませんが、台湾では百人以上がスパイ罪で拘束されていると聞きます。逆に、アメリカのパスポートを持つている人は捕まりにくいといわれています。

ラインゲームも制限される。芸能人へも規制強化の網をかぶせていくといった社会統制が行われているのが今の中国です。

（思想教育の強化）

二〇一七年の党大会で、毛沢東思想、鄧小平理論と並び、習近平思想なるものが党規約に盛り込まれました。二〇一七年、「習近平の新時代の中国の社会主義思想」という名称の指導理念が提示され、これが習近平思想専門の教科書として小学校から高校までの教科読本になりました。親しみを演出しているのか、小学生用では「習おじいさん」として教科書に出てきます。高校生用になれば台湾統一にも触れています。教科書にイデオロギー関係物が増えているだけでなく、英語の原書や翻訳本も審査を経なければなりません。特にジャーナリズムや憲法学を取り扱った本は使いくなくなっています。

二〇二一年三月には刑法改正がされ、英雄を侮辱すれば処罰されるようになりまし。ソニー中国が微博（ウェイボー）に宣伝用の写真と出して、黒い犬が紅葉のなかから顔を出している写真を掲載しました。これが、中国の人には良く知られてい

ます。アメリカ人を拘束すればやらしいことになってしまふと思つているからです。中国政府も経済制裁など様々な問題を抱えるアメリカには楯突くような真似はしない。他方、オーストラリア人やカナダ人は結構拘束されている。中国政府が国際的に力を持つようになってきたことで、アメリカを除き、他国をあまり気にしなくなったからではないか、ともいわれているようです。

（中国の言論統制）

国家の安全というものを考えたとき、中国で一番の問題であり、一番変わつてほしいのは言論統制です。人間である限り、わたしたちは「言葉」を持ち、「言葉」を使います。ところが、国が「これが正しい」、「これはダメだ」と一方的に決めてしまえば、表現というものがすごく単調なものになってしまいます。ここに中国の問題があるのです。言論統制を敷かなければ自分たちに対する批判がどんどん高まつてしまふと懸念し、当局側が考える「正しいもの」をどんどん決めて押しつけていくのです。

二〇一〇年代の胡錦濤前国家主席の時代に新公民運動が起こり始めた。絵なのですが、朝鮮戦争のときに炎のなかを突き進んで殉死した若い兵士の絵に似ているとして、中国のネットユーザーたちが騒ぎ出したのです。ソニーは朝鮮戦争の英雄を侮辱した、赤い紅葉から犬が顔を出した絵を使い、炎のなかを突き進む人民解放軍の兵士をバカにしたと批判し始め、ソニー中国のサイトは閉鎖に追い込まれました。

しかも、その日を狙つたとは到底思えないのですが、偶然にもソニー中国がその写真をサイトに掲載した十月十二日は、件の絵の兵士が戦死した日だったそうです。

ソニー中国は、さらに失敗を重ねます。二〇二一年十月、ソニー中国は広告法違反で百万元、日本円で二千万円弱の罰金を科されました。それは、新商品の発表会を七月七日に設定したためです。七月七日は盧溝橋事件が起きた日です。中国の企業はお祝い事をするとき、戦争に関する日は絶対に避けます。それなのに、ソニー中国は、新商品発表会を盧溝橋事件が起きた七月七日に開催すると大々的に宣伝してしまつた結果、二千万円弱の罰金を支払うことになつたわけです。

また、今年五月、人民解放軍をネタにしたお笑い芸人が立件されまし

た。習近平氏がかつて人民解放軍に発したスローガンをパロディーにして言い換えたそうです。同時に、その芸人が所属していた大手芸能事務所「上海笑果文化メディア」に対して二億円以上の罰金を科しました。この芸能事務所は、それまでも政治ネタを交えたお笑いを中国各地の小劇場でやっており、ファンもたくさんいて、チケットも売れています。言論統制下では、自分たちの国の問題をなかなか直接には口にできないけれども、おかしいものはおかしいということのパロディー風に表現する芸人が出てきて、しかも人気を得ているのです。こうしたお笑い芸人たちに人気が出ているのは中国の変化のひとつでもあるように思うのです。

「共同富裕」で始まった

金持ち叩き

中国の社会統制としてももうひとつ注目しなければならぬのが「共同富裕」という概念です。

鄧小平時代は、豊かになりたい人はお先に豊かになればよい、白でも黒でもネズミを捕る猫がよいというふうに、社会主義理念を追求するよりも、先に余裕を持つようにしていきなさいという概念です。香港は一国二制度だと決めてやってきて、発展し、自由にあふれ、素晴らしいエリアであったのですが、中国当局はあそこまで香港を追い詰めていきました。一国二制度の下、香港特別行政区基本法という憲法に等しいものもともとあり、その基本法に基づいて香港の様々な法律がつくられています。ところが、一部、社会運動をしていた人たちの行き過ぎた行動の影響もあったかとは思いますが、香港特別行政区基本法を上回るものとして国家安全維持法というものが入ってきて、国家の安全維持にチャレンジするような言動行動に関しては、基本法で認められているものであっても認めないとなってしまうました。

基本法では、たとえば行政長官は普通選挙で選ぶことになっていました。ですから香港の民主派の人たちも、それを目指して運動をしていたのですが、これが認められなくなりました。実際、国会にあたる香港の立法会の議員を選ぶ選挙で、民主派の人たちが票の調整をするための

こうというものでした。そしてその後、資本家でも企業経営者でも中国共産党の党員になれるようにもしました。それまではあり得なかったこととです。

習近平時代になって出てきた「共同富裕」という概念の下では、お金持ちは叩かれます。ただし、すべての富裕者を叩くわけではなく、叩かれるのはIT企業などの民営企業の経営者たちです。つまりネット通販会社や、たとえば中国のネット通販大手アリババ創業者のジャック・マー（馬雲）氏などです。国営企業や習政権の味方になってくれるようなところ、また自分たちの仲間はありません。

叩き方は、まずは脱税容疑です。脱税をしていたとされ、追徴課税を科される。あるいは中国共産党への寄附も強要される。額にして何千億円から一兆円にも及ぶ寄附です。これを拒絶すれば、当局から何をされるかわからない。そのために相当な額の寄付金を納めているようです。

中国で問題になっている貧富の格差を是正するために共同富裕政策を打ち出しているわけですが、本当に社会の格差を改善していきたいのであれば、一番よいのは税制や社会保障の制度を変えていくことです。し

予備選挙を行ったところ、関わった四十七名が一斉に逮捕され、現職、元職の立法会議員も弁護士も逮捕されました。大学の先生までもが捕まる。ここ二年、三年のあいだに、多くの人が刑務所に入るようになってしまったのが現在の香港です。本当に恐ろしいことが起きていると思います。

国家安全維持法で犯罪だと規定されているのは、国家の分裂行為、中央政府の転覆行為、テロ行為、外国勢力との結託行為です。たとえば周庭（アグネス・チョウ）という香港の若者が頻繁に来日し、東大で三回ほど講演会を開いているのですが、一度逮捕され、八カ月ほど刑務所に留置されました。今は一切の発信を控えています。外国メディアの取材を受けたり、外国で講演会を開いたりするだけで、おそらく「外国勢力との結託行為」とみなされ、国家安全維持法に触れてしまうのだと思います。ですから、連絡すれば彼女に迷惑をかけてしまうでしょうから、あまり連絡を取らないようにしています。

わたくしの身近で起きた事件ですが、わたくしの教え子である東大生のガールフレンドで、日本留学中の香港の大学の二年生が、身

かし、所得税や固定資産税の仕組みを変えていくとなれば、中国全体を動かさなければならなくなり、味方になってくれるような社会階層の人たちを敵にまわすようなことになるとってあまり有益ではない勢力を狙い撃ちする。つまり習近平氏にしてみればジャック・マー氏は著名であり、巨万の資産を有している。さらにはIT企業ですから、情報をコントロールする力も持っている。ですから、彼のような人は共産党政権のリーダーにとって極めて怖い存在であり、共産党政権を維持し、習政権のリーダーシップを維持していくには不都合な存在として狙い撃ちしています。共同富裕政策の身をみれば、そんなふうには思わざるをえませんが、

中国経済が急激に悪化しているのは、大きく成長してきた民営企業をいきなり潰していくようなことをしているからです。IT企業にしてもメーカーにしても、小さな家内工業から積み上げて大きくなった中国の企業家はたくさんいます。そういう人たちの努力が報われない国は発展しません。頑張ってきた人たちを潰すようなことをしてしまうのは、政治を優先しているからです。国家の

分証更新のために香港に一度帰ったところ、そのまま逮捕されました。なぜ彼女が逮捕されたのかというと、もう昔のことですが、フェイスブックやインスタグラムのソーシャルメディアにいろいろと彼女が香港のことを書き込んでいて、「香港は独立しがありえない」といったことを発信していたのを、おそらく誰かが通報したためだと思えます。

問題は、書き込んだ場所です。彼女は香港で発信したのではなく、留学していた日本で書き込んで発信したにもかかわらず、それが問題となり、帰国と同時に逮捕された。つまり、国家安全維持法は域外適用されるのです。外国人に対してそこまでやらないだろうとは思いますが、他国に留学中の香港人や中国人の学生たちが「帰国したとき、あの子みたいに逮捕されたら困る」と思ったら、留学先でも発言は気を付けようとなり、思っていることを言ったり、書いたり、発信しなくなる。その瞬間から、言葉はどんどん消えていきます。今、香港や中国本土では、様々な書籍が棚から外されています。日本もそうなるかもしれません。日本の言論空間もどんどん縮んでいくはずですが、ですから香港で施行されてし

まった国家安全維持法は絶対に廃止してもらいたいと、わたくしは思っています。

天安門事件の追悼集会を毎年開催している団体の副主席を務める鄒幸彤さんという女性が、現在、当局によって収監されているのですが、彼女は法廷弁護士で、自分で自分の弁護をしています。長い懲役刑に処されてしまいかねないので、国家安全維持法で有罪となるのは怖いはずで、ですから多くの人が発言を控えるようになっていなかで、彼女は絶対に譲りません。「天安門事件に関する学生たちの証言こそ法廷でつまびらかにされるものだ」と法廷で主張し、若いにもかかわらず、「言うべきことを言い、残すべき記録は残さなければならぬ」、「わたし自身、無罪や減刑などは乞わない」、「言論の自由を守る唯一の方法は話し続けることであり、文字には生命力がある。法律でも権利でも決して定義できないものが言葉や文字にはある」と堂々と主張します。自分が裁かれる法廷のなかで、自分自身で弁護しながら戦っているのはすごいことだと思います。

人たちがアート作品を発表しています。実は去年十一月頃からわたくしの自宅の一部を「アジアン・コモンズ」というオープンスペースにし、いろいろと活動しています。玄関は民主化のシンボルとして、「豊多摩監獄の門」や中国・陝西省の窑洞（ヤオトン）といわれる洞窟住居建物を外観デザインモチーフとし、外壁の色も民主化のシンボリックな色である黄色にしました。このアジアン・コモンズでは、中国、香港、台湾、そして日本の若者たちが集まって、いろいろな活動をしています。版画のワークショップも開いたりしています。先日、台湾で台湾有事をめぐるトークショーが開催されました。戦争リスクにどのように向き合うのかは、若い世代にとって大事な問題です。そこでアジアン・コモンズと台湾の会場をオンラインでつなぎ、画面を使って参加してもらいました。いろいろと質問も飛んでいました。

今年四月、東京大学の駒場キャンパスでも講演会を開きました。講師は、中国中央テレビの人気キャスターから性暴力被害を受けた弦子（シェンズ）さんにしていただききました。裁判では二審まで争い、負け、中国では「#M

ウイグル問題について」

ウイグル問題にも触れておきます。ウイグル自治区の区域自治制度も、中国自らがつくった制度ですが、少数民族の自治区に高度な自治を保障する、少数民族の文化、言語、宗教は尊重されると、自分たちでいいながら、その制度を自分たちの手で壊しているのです。ウイグル人の小さな子どもたちを親から引き離し、当局が管理する寮に押し込み、中国語で教育を受けさせ、やがて子どもたちはウイグル語を話せなくなり、習近平政権の下で、少数民族の言葉や文化を抹消していくようなことをしているわけです。

民間交流を通じた問題提起」

今日の話のまとめとして、どうすれば未来がよい方向になっていくのかということに触れていきます。

東京大学では現在、様々なイベントを開いています。講演会も開いた「Hong Kong Kong Week 2023」と称する展示イベントに多くの中国人がきてくれました。「香港の民主化運動などみたくもない」と、中国の若い人たちはあまり

eToo」運動のシンボリックな存在になっていく女性です。実はこの講演会は、内輪でお知らせした程度で広く案内は出していなかったのですが、当日、蓋をあけてみれば二百人以上の参加者でした。すべて中国の若者です。彼女の話を泣きながら聞いている若者もいました。

中国の社会にはいろいろな問題があるのに、そのことを表現できない、触れられない。問題についての議論もできない。これはすごく苦しいことです。しかしそれを共有する場があれば、少しは救いになるかもしれない。これからも言論の自由が保証されている日本で、みんなと一緒に議論をしていく場をつくり続けていきたいと思っています。

もうひとつ、今年五月、深圳で開かれた芸術展示会で会場の床に「我々は最後一代」という言葉が描かれていました。白い防護服を着た当局の人間が家にズカズカと勝手に入り込み、コロナの感染リスクの高い人々たちを無理矢理、次々に隔離施設へ連れ出すといったことがあり、その際、防護服の人は「おまえが従わなければ、おまえの次の世代にまで影響することになるぞ！」という言葉を放つのですが、これに対し連行される人が「大丈夫だ。もう

関わりとうとしないはずなのに、わたくしの教えている学生たちだけではなく、今まで関心を寄せていなかった他の中国人留学生たちがたくさんきてくれました。もちろん、あまり知られたくないからと、こっそり来てこっそり帰っていく人もいました。関心を持ってくれるというそのことに、わたくしは大きな嬉しさを感じました。

討論会にもたくさんの方々がきてくれました。香港はもちろん、中国本土では決して開けないような内容のイベントであり、討論会です。

アートも展示しました。アートでいろいろなることを表現しようという若い人たちが増えているのは嬉しいことです。ゼロコロナ政策の最中、ウルムチで火事が発生しました。ところが、ゼロコロナ政策によって封鎖された地域に、消防車は来ませんでした。その結果、多くの死傷者を出してしまいました。当局の発表では十人ほどの死者となっていました。命を失うような政策はおかしいと思っても、中国では、それを言葉で表現することは難しいことです。ならば版画で表現すればよいのではないかと、そういう思いで中国の若い

次の世代はないんだから」と返答したというエピソードがあります。そののですが、「最後の世代」という言葉は、中国の指導者たちが一番聞きたくないものです。次の世代がないということは、未来がないということになります。中国では今、結婚もしないし、子どもも産みたくないという人が増えています。不動産が振るわなくなった原因のひとつも、そこにあります。子どもが増えない、人口が増えない、未来を感じられないようになってしまっているところに発展はありません。中国は「最後の世代」が流行語になってしまいうような今を乗り越えるような、大きな改革をしていかなければならないと思えます。

さいごに」

「中国はかなり不安定だから台湾有事が現実のものになるのではないか」という心配がかなり出てきています。近隣である日本は、台湾有事に至らないようにすることを考えていかなければなりません。そのためには日本は日本で、中国にしっかりと物申さなければならぬ以上、自分たちの民主主義を足元からしっか

倶楽部だより

会員ご家族婦人会見学会実施
 個人会員 伊貝 武臣

今回は九月二十八日(木)に開催され、雨天も懸念されましたが、持参した傘は不要でした。行先は淡路島であり、サブテーマが「淡路島で学んで食べて」でした。阪神高速や中国道、淡路・鳴門自動車道、明石大橋を経て淡路島西海岸を通り、一時間十五分ほどで「のじまスコラ」に到着しました。ここは閉校された野島小学校を「パソナ」がリニューアルしてマルシェレストラン・パーク動物園等に活用された複合施設です。

最初にパソナの部長からパソナの事業取組に関するセミナーが約一時間半ありました。パソナの企業理念である「社会の問題点を解決すること」を地方創生事業への取組内容とその具体例としての淡路島における事業内容の詳しい説明がありました。

お昼は同じ施設内のレストランスコラにて柔らかい淡路牛のステーキランチを美味しく頂きました。神戸牛の原産地は淡路島であるとのこと納得できました。

野島スコラに来る途中にも西海岸にはハローキティのショールームやレストランがある施設やコンテナが一軒の料理店舗となるシェアガーデンもありました。アニメキャラクターを取り入れた観光やショーなどを楽しめる様々な施設もあり、また来たくなるような淡路島の大きな変化が実感できる状況でした。

午後からは、西海岸を少し戻って北淡震災記念公園の野島断層保存館を見学しました。一九九五年一月十七日午前五時四十六分、M7.3、震度7で発生した阪神淡路大震災の震源である野島断層が保存されている国指定天然記念物を見学しました。自分達自身が体験した大震災の状況を思い出させてくれるものでした。大阪南部でも早朝に寝床

救命講習会実施報告

十月十一日(水)に(財)大阪市消防振興会の三名の方のご協力により普通救命講習会を開催しました。

当日は倶楽部職員十二名が参加し、心室細動等の不測の事態に迅速に対応できるように真剣に取り組みました。

当倶楽部をご利用いただき、安全かつ安心して倶楽部ライフを楽しんでいただけるよう、今後とも開催していく予定です。



服装規定について

会館利用に当たっては、左記の服装の励行をお願い致します。

下記の服装は、ご遠慮いただきます。

NG

- 迷彩パンツ
- 作業服
- スニーカー
- スリッパ
- ジャージ
- Tシャツ
- 襟なしシャツ
- ジーンズ

クールビズ終了のご案内

クールビズは十月三十一日(火)をもちまして終了いたしました。ご協力の程ありがとうございました。

上着: 背広、ブレザージャケット等を着用

シャツ: ワイシャツ、襟付のシャツ等を着用

講演録 国家安全を強調する中国の社会統制政策～最近の情勢の分析～

CLUB GRAF くらぶ・ぐらふ

◎午さん会 6月9日
 『中国と邪馬台国とのつながり』
 『魏志』倭人伝からみる』
 元大阪府教育委員会
 文化財保護課
 西川 寿勝氏

◎午さん会(6月16日)
 『コロナ後のベトナムビジネス状況と日本の今後について』
 株式会社VIT Japan
 代表取締役 猪谷 大栄氏

◎午さん会 6月23日
 『関西電力グループの社会課題解決に向けた取り組み』
 『完全閉鎖循環式陸上養殖業を起点に』
 海幸ゆきのや合同会社
 代表職務執行者 秋田 亮氏

◎午さん会 6月30日
 『中央電気倶楽部の建築史学』
 神戸情報大学院大学
 客員教授 川島 智生氏

りしたものに固めていかなければならないと思います。

A1時代の問題もあります。今、真偽不明な情報がどんどん出てくるようになっていきます。特にビッグデータをコントロールできる中国やロシアなどの大国は、自分たちに有利な情報を一方的に流すことができているわけです。汚染処理水の問題もそうです。ですから、日本の政府はしっかりとモニタリングをして数値を公表し、安全性に問題性があれば処理対応していくということに努めていく必要があります。中国のように科学的な根拠で問題がないにもかかわらず、「危ないぞ」、「危険だぞ」と言い触らし、むやみに恐怖を煽るよう

なことがかりをしても意味はありません。同様に台湾有事も、煽る必要がないのに煽ってしまえば、不要な衝突が起きかねないばかりか、それを機に泥沼化して大変なことになってしまいかねません。情報をしっかりと見極め、冷静に対応する。問題があれば、情報のコントロールの仕方を変えていく。この二つがA1時代においては大切なことだと思っています。

人権問題や経済性のあり方等々、いろいろと政策の方法はあるかと思えます。いずれにせよ、中国は今、かなり動いています。不動産や金融の状況がかなり深刻化していますから、ここは注目をして、日本として

重要な役割を果たしていかねばなりません。

(令和五年九月一日
 講演抄録文責在記者)

NHK衛星放送テレビ 中央電気倶楽部が紹介されます(予定)

NHKBSプレミアム(103ch)の番組「新日本風土記」の中で中央電気倶楽部が紹介される予定です。この番組は日本各地の文化や風景を映像遺産として伝えるドキュメンタリー番組です。



5Fホール前

今回、「(仮)大阪モダン」というテーマで大阪の歴史情緒溢れる近代建築と、そこを愛して暮らす人々に焦点を当てて番組を制作され、その一部として当倶楽部の建物と人々の活動(社交ダンス部のレッスン風景、えれき亭の会食風景)を撮影いただきました。改めまして取材に快くご協力いただきました社交ダンス部の先生および部員の方々および青年会の方々に御礼申し上げます。



5Fホールでのレッスン風景

放映日は、BS4Kは令和五年十一月二十一日(火) 二十一時から、BS2Kは令和五年十二月五日(火) 二十一時からの数分間の予定です。

写真部撮影会 「奈良九品寺」周辺で開催

九月二十八日(木)に写真部は、彼岸花で有名な「奈良九品寺」周辺で撮影会を開催しました。大阪梅田よりマイクロバスをチャーターしての、バスでの撮影会です。季節外れの暑さの中で、九品寺周辺の野原、田畑の畔は彼岸花で真っ赤で、実りつつある稲穂の黄色とのコントラストの景観を見せてくれました。撮影会後、「かもきみの湯」での昼食会では、冷たいビールを味わい、おいしい食事をいただきながら、写真談議に花を咲かせました。



「奈良九品寺」周辺にて

食堂よりのお知らせ

「茸たっぷりのポルチーニクリームパスタ」いつもお世話になり、ありがとうございます。十一月新メニューのご紹介をさせていただきます。

松茸より香りが上品と言われるポルチーニ! この時期にピッタリなクリームパスタはいかがですか?
麺はクリームの絡みやすい平打ち麺を使用しています。



サラダ・スープ・パン・コーヒー付き ¥2,000(税込)

※三階食堂にてご予約承ります。二日前までにご予約願います。食堂の混雑状況により、ご予約できない場合がございます。

将棋部 部員募集のご案内

将棋部(委員長・井上絃氏)は、現在新入部員を募集中です。将棋を愛好される方の入部を心からお待ちしております。

毎月第四土曜日の例会(十一月除く)と、年三回の他倶楽部との対抗戦で腕を磨いております。

指導講師は、矢倉規広 七段(日本将棋連盟関西本部所属棋士)です。今後、例会の他にもイベント等を検討しておりますので、是非お越し下さい。

(会費)

上期・下期の六ヶ月分、各五、〇〇〇円(一月・七月請求)
但し、途中入部は一ヶ月一、〇〇〇円として、月割計算します。

(例会)

毎月第四土曜日
例会費：一、〇〇〇円
(指導日)

一月初指し会と四月・八月・十一月の例会日(年四回)
指導：一局、一五〇〇円

(大会)

四倶楽部懇親将棋会：四月・十月の第一土曜日
夏季トーナメント大会(懇親会)：八月の第四土曜日(例会兼ねる)
対大阪倶楽部懇親将棋競技会：年一回
*お申し込み・お問い合わせは、事務局 藤永まで
TEL 〇六一六三四五一六三五四

ゴルフ部 新入部員募集

ゴルフ部では、近畿を中心とした名門ゴルフ場をはじめ、色々なゴルフ場で例会を開催しています。

競技費は会員のバスデイ割引等を活用し、特別料金でプレー出来ます。

ゲスト参加大歓迎いたします。是非お気軽にご参加下さい。

伝統あるゴルフ部へのご入会をお待ちしています。

募集要項

★会費 入会金 三、〇〇〇円
年会費 六、〇〇〇円
(月五〇〇円)
競技費 各自実費

*お申し込み・お問い合わせは、事務局 藤川まで。
TEL 〇六一六三四五一六三五六



10月例会

撞球部員募集中

撞球部では、部員を募集しております。歴史的建物の当倶楽部内の本格的な撞球場の雰囲気味わって下さい。

同部では、ポケットのないビリヤード台を使用したキャロムビリヤード(スリークッション、四つ玉、カードル)を楽しんでる他「紅白戦」などのイベントで部員相互の懇親も図つていきます。

初心者の方も撞球部委員が懇切丁寧な指導、助言を行つておりますので、是非、一度撞球場にお越し下さい。



会費 一ヶ月 五〇〇円

(上期・下期六ヶ月分請求)

競技会 月例会(原則第一土曜日)

・総当たり戦(部員全員、二ヶ月間)

・三倶楽部対抗戦(四、九月)

・清交社対抗戦(六月)

※お問い合わせは、事務局 松本まで。

TEL 〇六一六三四五一六三五五

◎絵画部(水彩画)教室

十月度(四日・水曜日)の画材は、「静物・風景」でした。

今回は十一月一日(水)「静物・風景」です。

◎囲碁部 例会(九月九日)

成績

三勝 四段 井垣 文男 君
〃 四段 廣川 強士 君
(参加者 四名)

(次回例会は十月十四日(土))

◎将棋部 例会(九月三十日)

成績

三勝 六段 井上 清志 君
二勝 六段 住原 廣 君
(参加者 五名)

(次回例会は、

十一月二十五日(土)指導あり)

◎ゴルフ部第五六六回 例会

(九月二十一日 晴れ 於花吉野CC)

成績

優勝 佐藤隆一郎 君
二位 佐藤 里織 君
三位 石田 貴志 君

・優勝コメント

秋分を控えた季節だというのに例年になく暑さが残る例会でした。今年初めての参加だったので暑さと熱い緊張の中、ネットで三名同スコアとなりました。今回ハンデに恵まれて優勝することができました。同伴競技者の松山様の場様ありがとうございました。

◎第二八回 清交社 懇親ゴルフ競技会

(令和五年十月十九日 晴れ 於 G.C 四条畷)

参加人員 二十四名

清交社 十八名

中央電気倶楽部 六名

団体優勝 清交社

参加人員上位六名の平均ネット

中央電気倶楽部 平均ネット七五・八

清交社 平均ネット七二・二



授賞式

(次回例会は、十一月二十一日(火) 第五六七回例会 鳴尾G.C)

◎撞球部 例会(十月七日)

成績

優勝 島津 二郎 君
二位 雑賀 幹人 君
三位 石井 大三 君
四位 石塚 正和 君
五位 吉川 尚美 君
(参加者 十五名)

・優勝コメント

倶楽部にお世話になって、初めて優勝を手に入れました。六試合五勝一敗の内容で五勝の中には撞切り一回が含まれる、神懸かつた優勝でした。そういえば、九月末の土曜日、倶楽部の喫茶室入口手前で両手に杖をついたご老人が膝をついて倒れており、必死で立ちあがろうとしていたところを通り掛かりまして、背後から抱えて喫茶室へ誘導いたしました。「もう少しのところで転んでしまつて！ありがとうございます。」と感謝の言葉をいただきました。私が思うに、「この行動を神様が見ていたのだと思います。桑原和男に代わって、『神様あ、こんな私に優勝するお力を与えて下さり、ありがとうございます。これからも人様のお力になれるように頑張ります。どうか遠くでお見守りください。』と清聴ありがとうございます。ありがとうございました。ペコリ、ドテン。』としておきます。もう少し上達を目指して、日々精進、良いことをして神様に見ていただかないといけません。時間ギリギリまで倶楽部を利用させていただきたく思います。よろしくお願いたします。最後に、今回対戦していただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。(次回例会は十一月四日(土))

◎俳句部

第八百五十四回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生指導
令和五年九月十六日
兼題 当季雑詠五句

選者吟

着し上着またも脱ぎたる残暑かな
ハンモック広場でふあり山の園
爽やかに優先座席譲らるる
人生はままならぬもの苦鱈鯨
新涼に手を広げたる彫塑かな

いなづま句抄

○風の盆顔つひに見せず去る 難波 正行
○道後なれ熱田津にいま月出づる 富山 勝幸
○この街の神輿引く子の減りにけり 野尻 弘輔
○剥ぎ上手母居てこそその栗ご飯 東代 舞
○牧水の歌集につのる秋思かな 広田 祝世
○ガリラヤ湖魚影の走る水澄めり 出店智恵呼
○上賀茂の神域に治ひ水澄めり 奥村 恵子
○宮島に管弦祭の祭舟 友岡 淑子
○齋庭今しやもの天国神の留守 前野美枝子
○仏間から黄金桃の香る朝 留岡 寛
○暗闇に子供の声と手花火と 木下 貴友
○光さす座敷で見つく秋意かな 前田 便利
(○印選者選)

(注)

苦鱈鯨(にがうるか)・・・鮎の塩辛のことで、その中でも鮎の内臓だけをつくるものを苦鱈鯨という(季語)
彫塑(ちようそ)・・・粘土のような柔らかい物で作られ、彫刻とは違って、何度でも自分が望む作品を作り上げることが可能。

風の盆(かぜのぼん)・・・富山市八尾町で毎年九月一日から三日にかけて行なわれる盆踊りで、二百十日の風害を防ぐための祈願と盂蘭盆の納めの行事とが習合したもの。(季語)
熱田津(にぎたつ)・・・朝鮮半島への出兵の途中、熱田津に近い石湯行宮(道後温泉)に滞在し、斉明天皇と同行していた額田王の歌にも詠まれている。

ガリラヤ湖(がりらやこ)・・・イスラエルのヨルダン地域にあり、キリストの布教活動の中心地として知られ、新約聖書の舞台にもなっている。

管弦祭(かんげんさい)・・・宮島の管弦祭は日本三大船神事の一つで、平清盛が神様をお慰みする神事として執り行った。(季語)
齋庭(ゆにわ)・・・神を祭るため齋み清めた場所を「齋庭」と呼ばれている。
秋意(しゅうい)・・・秋の風や雨など、秋の風景や天候に揺れ動く心の働きのこと。(季語)

他倶楽部案内

●●●● 清交社の午さん講演会のご案内

会場：ANAクラウンプラザホテル大阪 三階飛鳥の間 他
時間：十一月二十三日(火) 十三時三十分

十一月七日(火) 講演「アナウンサー物語」
フリーアナウンサー 茅原 ますみ 氏

十一月十四日(火) 講演「大阪発FM802」
株式会社FM802 代表取締役社長 奥井 宏 氏

十一月二十一日(火) 講演「二〇〇〇年のそろばん勘定」
大阪大学大学院工学研究科 教授 森 勇介 氏

十一月二十八日(火) 講演「優しさが伝わるケア「ユミニチュード」」
京都芸術大学学長 日本ユミニチュード学会理事 吉川 左紀子 氏

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局に二日前までにお申し込み下さい。
◆会費/三、〇〇〇円(昼食代消費税込後日精算)前日の午後五時以降は、キャンセル料が発生します。
☆ネクタイ着用